

2019年11月26日

独立行政法人国立文化財機構
奈良文化財研究所 殿

全国邪馬台国連絡協議会 代表者 会長 鷲崎弘朋
担当 丸地三郎

年輪年代法に関する情報公開請求を添付の法人文書開示請求書 2 通の通り請求いたします。

年輪年代法は、誤差のない1年単位の結果をみちびきだすもので、『日本の学界にも重要な自然科学的研究手段として利用されることが望ましい』と「年輪に歴史を読む」(著作権所有者 奈良国立文化財研究所)にも記載されているもので、貴研究所で開発され実用化されましたが、この方法は、遺物から誤差のない絶対年代が特定でき、研究の決め手になるものとして、歴史研究、特に古代史の研究に際しては、注目を集めております。

「古年輪学研究の根幹となる長期におよぶ暦年標準パターンの作成」が、大変なご苦勞の上に試料を収集し、多くの時間が費やされる綿密な計測の上に、貴研究所で完成されたことは、喜ばしいことです。

また、古代の歴史試料から木材の年輪を計測して、暦年標準パターンを比較し、年代を測定し公表してきたことは、歴史研究に大きな影響を与えてきました。

この年代測定の方法を、「年輪に歴史を読む」という書籍の中で、個々の試料(樹木)から得られた年輪幅データと、暦年標準パターンとの対応の仕方を数式で明示し、方法論として明確にされたことは、年輪年代法の成果とその効用を広めるために、重要な働きをしたものと評価しております。この中で示された年輪幅に関する必要な精度や、年輪パターン作成のための数学的な処理のための数式、標準パターンとの比較のための数式とそれを評価するための数式まで明示されたことは、「自然科学的研究手段」としての信頼性を高めたものと言えます。

ところが、実際に測定が行われ、その研究成果が発表される際に、「自然科学的研究」として欠かせない基礎データが公表されていないことが、誠に残念です。年輪を測定した数値データと比較された暦年標準パターンが明示されることにより、書籍中に示された数式や方法論で確認することが可能となり、その結果が正しいものであることを、万人に知らしめることになります。また、一般の科学論文では、必須の条件です。

そこで、公表されていない基礎データの内、下記のものを開示請求を行います。

- ① 奈良文化財研究所の HP の中の年輪年代学の頁
(<https://www.nabunken.go.jp/contents/science/age.html>)に記載されている「ヒノキとスギの暦年標準パターン」、この最新のもので、「古年輪学研究の試料と方法」で示された数値データ。
- ② 『正倉院紀要』に 3 回に渡り、掲載された貴研究所の光谷拓実著「年輪年代法による正倉院正倉の建築部材の調査 (2)、(3)」の調査に用いられた
 1. 建築部材の写真画像データ
 2. その年輪幅測定データ
 3. ヒノキ年輪標準パターンの A パターン と B パターンの両方の数値データ。
(年輪年代を求めるのに用いられた)

開示頂けた時には、年輪幅測定データと暦年標準パターンを、「年輪に歴史を読む」の中の「古年輪学研究の試料と方法」の記述に従い、追検証をしたいと考えております。

歴史と科学のために、是非、開示をお願いいたします。

以上

第 1 号様式 (第3条 (2) 関係)

2019 年 11 月 26 日

法人文書開示請求書

独立行政法人国立文化財機構理事長 様

氏名又は名称 (法人その他の団体にあつては、その名称及び代表者の氏名)

全国邪馬台国連絡協議会 代表者:会長 鷲崎弘朋

住所又は居所 〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目2番15号浜松町ダイヤビル2階
連絡先

鷲崎 弘朋 〒176-002練馬区中村南 3-15-4 TEL 090-3218-8622

丸地 三郎 〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-35-1、808 TEL 090-6109-8426

独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律第4条の規定に基づき、下記のとおり法人文書の開示を請求します。

請求する法人文書の名称 又は知りたい内容等 〔 請求する法人文書が特定できるよう、できるだけ具体的に記入してください。 〕	奈良文化財研究所の HP の中の年輪年代学の頁 (https://www.nabunken.go.jp/contents/science/age.html) に記載されている「ヒノキとスギの暦年標準パターン」、最新のパターンで、「古年輪学研究の試料と方法」で示された数値データの開示を請求。
求める開示の実施方法等 (本欄の記載は任意です) ①求める開示の実施の方法 ②国立文化財機構において開示の実施を求めるか又は写しの送付の方法によるかの別について記入してください。	① 開示の実施方法 ① 閲覧 ② 写しの交付 3 その他() 閲覧後に、写しの交付を希望します。 ② 希望する方に○を付してください。 ① 国立文化財機構において開示の実施を求める (この場合、希望日・場所を記入してください。) 2020 年 2 月 日() 時 分 年 月 日() 時 分 開示場所 (奈良文化財研究所 内) ② 写しの送付を希望する。

(* 以下は記入不要です)

受理年月日	年 月 日	受 付 担 当	情報公開室担当() TEL
決 定 期 限	年 月 日	整 理 番 号	
開示請求手数料	300円 × 件	円	

第 1 号様式（第3条（2）関係）

2019 年 11 月 26 日

法人文書開示請求書

独立行政法人国立文化財機構理事長 様

氏名又は名称（法人その他の団体にあつては、その名称及び代表者の氏名）

全国邪馬台国連絡協議会 代表者：会長 鷲崎弘朋

住所又は居所 〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目2番15号浜松町ダイヤビル2階
連絡先

鷲崎 弘朋 〒176-002練馬区中村南 3-15-4 TEL 090-3218-8622

丸地 三郎 〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-35-1、808 TEL 090-6109-8426

独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律第4条の規定に基づき、下記のとおり法人文書の開示を請求します。

請求する法人文書の名称 又は知りたい内容等 〔 請求する法人文書が特定でき るよう、できるだけ具体的に 記入してください。 〕	『正倉院紀要』に 3 回に渡り、掲載された貴研究所の光谷拓実著「年輪年代法による正倉院正倉の建築部材の調査（2）、（3）」の調査に用いられた建築部材の写真画像データとその年輪幅測定データ 及び 年輪年代を求めるのに用いられたヒノキ年輪標準パターンの A パターン と B パターンの両方の数値データの開示を求める。
求める開示の実施方法等 （本欄の記載は任意です） 〔 ①求める開示の実施の方法 ②国立文化財機構において 開示の実施を求めるか又は写 しの送付の方法によるかの別 について記入してください。 〕	① 開示の実施方法 ① 閲覧 ② 写しの交付 3 その他() 閲覧後に、写しの交付を希望します。 ② 希望する方に○を付してください。 ① 国立文化財機構において開示の実施を求める （この場合、希望日・場所を記入してください。） 2020 年 2 月 日() 時 分 年 月 日() 時 分 開示場所（奈良文化財研究所 内） ② 写しの送付を希望する。

（＊以下は記入不要です）

受理年月日	年 月 日	受 付 担 当	情報公開室担当() TEL
決 定 期 限	年 月 日	整 理 番 号	
開示請求手数料	300円 × 件	円	